

令和7年度まちづくり懇談会内容

日時：令和7年12月2日（火） 18：00～

場所：曾我活性化センター

出席者：32人

- 1.開会
- 2.町長説明
- 3.懇談
- 4.閉会

【懇談・そのほか質疑など】

■水資源の訴訟	
町民	水資源の問題について、なぜ起こったのか。
町長	対象地は、平25年に正規の売買契約に基づいてニセコ町が取得した土地で、4代前の購入者から自分が知らないところで第三者に勝手に売買されたので、売買された行為自体が無効ではないかと出張されている事件である。第一審では相手の主張が認められた判決となってしまった。報道では対象地が「水源地」だと言われているが、実際には「水源地の周りの土地」である。水源緩衝地といわれるこの土地は、第三者に渡ったとしても水が止まるものではないので安心していただきたい。現在も裁判が続いているのでお伝えできない部分が多々あるが、しかるべきタイミングが来たらみなさんへ説明する場を持ちたいと考えている。

■曾我活性化センターの維持管理	
町民	センターの維持管理についてお願いがある。電気代が令和6年、7年と増えている。来年（令和8年）はセンターにエアコンを設置してもらえる話もあるが、設置するとますます電気代がかかる。町内会費だけでは賅えず、町でも使用しているため、電気代を補助していただけないか。
町長	担当と相談し、具体的に検討する。地区ごとにセンターの規模や老朽具合、利用状況、管理方法が異なる。公平性を担保しつつも、各地区センターごとに様々な役割を担っているので総合的に判断し、町としての支援を検討する。

■農業用水	
町民	農業用水について、事業者土地を買われて水を通せない場所が出てきている。町と詳しい話をする時間がほしい。

農政課長	問題はさまざまある。これまでは水利組合で維持管理いただいているが、整備は地域で担い、町が補助してきた。全ての用水路を整備するのが難し中で少しずつ整備してきたが、徐々に追いつかなくなっている。
町民	結構喫緊の話で、来年度（令和8年度）田んぼが作付けできない人も出てきてしまう。早めに町と話したい。
町長	担当課も含めて一緒に話をし、農協さんとも情報交換しながら、町としての対応を検討したい。

■体育館	
町民	体育館にエアコンがない。夏に部活動、特にバドミントンをしていると窓を開けられず暑い。体育館全体を涼しくすることは難しいと思うので、せめて涼める場所、エアコンが設置してある小さい部屋を作ってもらえないか。
教育長	今の体育館は断熱がしっかりしていない。40年以上経っており、断熱にお金をかけるか、建て替えるか等の議論が必要。当面は、管理人室や奥の会議室にエアコンがあるので、使えるようにしたい。

■町バス	
町民	マイクロバスを町で整備してほしい。具体的には部活動の遠征で使用したい。今はすべて親が対応、遠征先の駐車場も狭く停められないこともある。まとまって行くと負担が少なく、安全性も考えてバスがあると良い。
教育長	過去にニセコバスで行っていたが、運転手や保管場所の確保など今は課題があり、それも含めてニセコバスと検討したい。
町長	まだニセコバスと具体的に協議はできていないが、時間がかかってでも導入に向け進めたい。他の町には町バスがあるのに、なぜニセコ町ではないのかも突き詰めていきたい。部活動の送迎はもちろん、老人クラブの集まりなどデマンドバスだけでは対応できないと聞くので、町バスを導入することで幅広く対応できるのではないかと考えている。町バス導入がすべての交通課題解決につながるとは思っていないが、一つずつ考えていきたい。

■人手不足	
町民	宿泊業をしており、汲み取りとゴミ収集の今後について不安を感じている。新幹線など工事関係の宿舎など、汲み取りする施設も増えていると聞いた。いっぱいになる前に早めに来てもらうようにしているが、それでも間に合わず自分でやったこともある。運転手さんも高齢化で足りない聞く。汲み取りもゴミ収集も今の方々が、一斉に辞めてしまう時がきたら次の人がいない。人手不

	足について、業者の声を聴いて対応してほしい。
町長	ゴミ収集以外も含めて、さまざまな事業者さんの人手が不足しているが、すぐに解決することは難しい。ゴミ収集も貴重な町のインフラの一つなので、どういった支援が必要か、事業者さんの声を受け止めながら進めていきたい。

■宿泊税の活用	
町民	プールを作るべき。プールは町民だけでなく、観光客が悪天候でスキー場に行けない時にも利用することができる。世界的なリゾートには当たり前プールやジムがある。ニセコは世界でも有数のリゾート地であるのにそういったものが全くない。建築するのは難しいかもしれないが、宿泊税をそういったところに充てられないか。高齢者の健康にもつながるので、町全体で検討しても良い施設なのではないか。
町長	前町長もプールについては話しており、維持管理の観点からなかなか進められなかったようだ。倶知安町でもプール整備の話が出ていたが、入札で業者さんとの折り合いが合わずに不落になったと聞く。建築資材も高騰している中で、越えなければいけない壁は大きい。宿泊税の使途の話し合いの中でもプールなどに充てるよう基金を積むご意見もいただいている。また、観光審議会の中でも、道の駅の建て替えの一部に宿泊税を充てられれば、観光事業者にも町民にも還元される、そういった使い方をしてはどうかという意見もいただいた。貴重な意見として受け止める。

■農業	
町民	町の主幹産業は農業と観光で、特に川北、曾我地区は農家が多い。産業振興の推進について具体的な施策はあるか。
町長	今年度も「ベジピク」の取り組みや町産野菜のブランディングなど、継続的な取り組みと新しい取り組みを徐々に進めている。ニセコ町の農業は地区、生産している作物、規模によって課題が全く異なると感じた。その中で何を核としてやっていくか考えていかなければならない。足元の問題は、人手不足、担い手不足で、特に川南の農家さんからは後継者不足が深刻だと聞いている。柔軟な働き方の推進や後継者とのマッチング強化など、中長期的に出来ることをやっていきたい。国営事業も残りわずかだが、整備した後の補修の手当てなど課題に目を向けて取り組んでいく。資材高騰への補助や担い手不足など、表面化している課題にしっかり向き合いながら、ブランド化や売り先など、両方向で見ていく必要がある。
教育長	ニセコ高校は来年度から総合学科に変わるが、農業を全く学ばないわけではない。ハウスもあり、土地は広くないが実験的に貸すなど、新規就農する人の

	ニーズにも応えていけないのではないか。近隣で農業を扱うのは、真狩高校、留寿都高校、倶知安農業高校がある。倶知安農業高校は施設も充実しているので、後継者育成の場になってほしい。
--	---

■鳥獣被害	
町長	他の地区で最近キツネが箱罠にかかると聞いた。キツネが増えているような状況はあるか。
町民	笹の花が咲いたあと、ネズミが増え、キツネが増えた。キツネはネズミを捕ってくれるので有益である。また町でエキノコックス対策もしているので、特に被害はない。アライグマとシカのほうが多く、町全体で対策しないと厳しい。
町長	超音波で対策している方もいるが、個人では限界があると聞いている。電気柵を連名で補助申請することで、外側だけ囲むだけで済むというような意見も出ている。曾我は規模も大きいので難しいか。
町民	曾我は間に川があるので、外周を囲うのは難しい。逆に沢を囲ったほうがいい。「鹿ソニック」は効果があるとは聞いているが、どのくらい距離をあけて設置したらよいかなど見極めがまだできていない。また一部で行っても、他の設置されていないところに被害が出てしまい、結局いちごっこになっている。
町民	罠に対する町の補助率を7割にしてほしい。絶対数を減らす必要がある。

■土づくり	
町民	緑肥申請をずっと行っているが、来年以降打ち切られるかもしれないという話を聞いた。基幹産業は農業で、販売やブランディングには力を入れてもらっているが、生産や土づくりもバランスよくやってほしい。土づくりがうまくできないと作物も育たず、売りにも影響が出る。最低でも補助は現状維持、できれば力を入れてほしい。
農政課長	国営事業後の地力回復にも必要と考える。
町民	国営事業の後は必要不可欠である。申請する人が少ないから打ち切りにする、ではなく対応してほしい。単年ではなく持続的に補助してほしい。
町長	ご意見を受け止めて反映していく。